

ステークホルダーの皆様へ

再生から循環へ。

「オールダイセキ」で社会を支え、
資源を活かすビジネスモデルを創造する

私たちダイセキは創業から半世紀を超える歴史の中で
産業廃棄物と真摯に向き合い続け、
資源循環による環境保全と経済成長の両立という価値を生み出してきました。

今、社会は大きな転換期を迎えています。
持続可能性が強く求められるこの時代において、私たちが果たすべき使命は
廃棄物を「処理する」ことにとどまらず、
「資源として再生し、社会に還元する」ことだと信じています。
そしてこれは、長年にわたって廃棄物と向き合い続けてきた
ダイセキだからこそ担える責務だと自負しています。

2025年の統合報告書では、循環型社会の実現と収益力の拡大に向けた
挑戦の取り組みと中長期の展望をご紹介します。
本報告書をきっかけに、ダイセキが描く未来に共感してくださる
ステークホルダーの皆様がひとりでも増えれば、これ以上の喜びはありません。

そして、本報告書をはじめとする様々な情報開示の取り組みを通じて
ステークホルダーの皆様との対話を一層深め、
頂戴したご意見をグループの経営や事業活動に的確に反映することで
より良い社会の実現へとつなげていきたいと考えています。

「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」へ。
このパーパス※1のもと、ダイセキは次のステージへと歩み始めます。
私たちの挑戦に、どうぞご期待ください。

代表取締役 社長執行役員

山本哲也

Tetsuya YAMAMOTO



ダイセキは地球環境の保全と持続可能な社会の構築を使命としています。
持続可能な社会を実現するためには、プラネタリーバウンダリー（地球の限界）の範囲内の
経済活動に転換することが必要とされています。
持続可能で明るい未来を次世代へ引き継いでいくためには人財の力が欠かせません。
ダイセキは未来志向の人財育成にも取り組みます。

経営理念

指針・方針

発想・構想・構造・実行

環境方針、安全衛生方針、
人権方針、腐敗防止方針

- 環境方針
- 安全衛生方針
- 人権方針
- 腐敗防止方針

ダイセキの事業全体像

ダイセキはCSV経営※3を標榜し、
環境（自然資本）に関する社会課題解決を
通じて、環境創造を行っています。



※1 パーパス：企業が何のために存在し社会にどのような価値を提供したいのかを示す存在意義

※2 コアバリュー：企業で働く全員が日々の仕事のなかで、何を大切にしているかを示す、共通の価値観や行動規範

※3 CSV経営：CSVはCreating Shared Valueの略。社会貢献につながるビジネスを通じて企業としての利益を上げることを目指す